



港南区民生委員児童委員協議会

第54号
2024年12月1日

民児協 こうなん

発行 港南区民生委員児童委員協議会 会長 黒川 暁博 港南区港南4-2-10

2面・3面

- ひまわり☆きらり
(各地区活動紹介)

4面

- 児童委員、
主任児童委員の役割
- 編集後記

民生委員・児童委員の役割や活動

見守り

一人暮らし
高齢者等への
訪問、見守り



相談

介護や子育てなど
様々な
相談に応じる



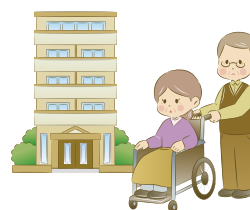
交流の場づくり

高齢者・子育てサロン、
食事会などへの協力



つなぎ役

必要な福祉サービスが
受けられるように
専門機関へつなぐ



例えば、こんなご相談があったら...



親の介護や老人ホームについて、
よく分からないから相談したいんだけど？



それでしたら「地域ケアプラザ」にご相談するといいですよ。
担当のケアプラザは〇〇〇です。

横浜市版民生委員・児童委員キャラクター
「よこはまミンジー」



専門部会について

港南区民生委員児童委員協議会では、研修担当部会、高齢者・障害児者福祉部会、児童福祉部会、
広報紙編集部会の専門部会を設けて、研修等を行い日々の活動につなげています。

高齢者・障害児者福祉部会



6月27日

ヒューマンライフケア下永谷(グループホーム)を訪問しました。入所者の方が行っている活動を体験し、生活されているお部屋等を見学しました。

児童福祉部会



10月9日

南部児童相談所を訪問し、役割や相談の流れ等について学び、施設内を見学しました。

研修担当部会



10月25日

令和6年度民生委員・児童委員全員研修を実施しました。民生委員活動における、個人情報の取扱いや活用について学びました。

ひまわり☆きらり ～各地区の活動紹介～

責任と笑顔の活動

日野第一地区

鎌倉街道と環状2号線の交差点を中心に東西南北が委員12名の活動地域です。地域性としては何世代にも渡っている世帯、六十数年前に都市開発された住宅街、企業の社宅跡に建設されたマンション群、医療・福祉・学校・地区センターなどの各施設があり、多種多様に向き合いながら関わり、活動をしています。

日々の活動の中で、連合町内会や社会福祉協議会と連携し、要請があれば季節の行事や訓練等に参加し、地域の皆様に認知、理解をしていただいています。中でも委員と地域の方々が一同に介する一大イベントが吉原小学校が開催場の『日野第一ふれあいフェスタ!!』です。

支援センター・活動ホームそよかぜ南の家・かるがもの家の仲間たちの手作りクッキーやお弁当販売、各地区別のチャリティー品の販売や各種屋台、そして楽しみ抽選会などがある中で、委員は活動のパネル展示と健康チェック、赤い羽根共同募金活動に楽しく参加し、ふれあい、体育館や校庭を幾度か回り、募金箱がズッシリと重くなっていくのを感じながら「地域とつながっている」ことに感謝と実感を頂いています。

これからもソロ(個人)、パート(地域)でハーモニー(共有・協働)を築いて活動していきます。



活発活動

港南台地区

35名の委員が三部会に所属しています。福祉部会、給食部会、子ども部会。福祉部会は毎週火曜日に社協との連携で港南台バースにて総合福祉相談に参加。

5月は防災センターヘバスをチャーターしての研修会。6月は地区内認知症グループホームへの見学を開催しました。給食部会は4月と8月にお一人暮らしの方をお招きしてほのぼの交流会を実施しました。8月は港南台第一中学校の生徒も一緒にトランプ、ボッチャ等で交流を深めました。12月はクリスマス会も行います。子ども部会は6月に各学校への訪問を主催し、委員ほとんどが各学校へお伺いすることが出来ました。7月は港南台バースで七夕まつりに参加いたしました。8月はNPO法人 望月理事長から「障害のある人も地域で生活できる」という講演を聴くことが出来ました。本年度からはコロナ以前と同様に、またそれ以上に改善されて各委員が積極的に活動を行いました。



新たな拠点で

永野地区

私たちは、お茶会やお食事会等の活動を東永谷地域ケアプラザで行ってまいりましたが、7月より新しくオープンした「上永谷駅前地域ケアプラザ」に活動を移行しました。建物と同様に気持ちも新たにした最初の活動が研修会です。テーマは「認知症講座」で、特別養護老人ホームの施設長を講師にお招きして実施しました。内容は、認知症の早期発見のめやすや家族の気持ちとその変化のステップについての解説、そして事例を通した対応のポイントを、施設での実体験をもとにわかりやすくお話しいただきました。質疑応答では、高齢者との対応の不安について、丁寧にアドバイスをいただきました。例えば、本人の感情は残っている、人としての感情は皆同じでそれを大切にするこことや、対応は無理をせず場面転換を試みながら話を聞く等、今後の活動を後押ししていただくものでした。「明日から頑張ろう!!」と勇気をいただきました。



新規事業を立ち上げました！

野庭団地地区

野庭団地地区では一人暮らし高齢者の会食「ひばり会」を行っていましたが、コロナ禍で3年間もの長い間中止となり、皆様とふれあえる機会を失い苦しい日々が続きました。コロナも5類に移行、地区社協「ささえ愛のば」の活動として、令和5年度から新規事業「出前カフェ」を地区社協が主催し民生委員・児童委員も協力、単位自治会の協力を得ながら立ち上げました。出前カフェとは、自治会単位でカフェ（お茶とお菓子）とケアプラザの出前講座（エンディングノートの書き方）等でふれあえる居場所とした、一人暮らし高齢者が対象の見守り活動です。

第4月曜日13:30～15:00、会費制で一人1回100円、会場は比較的広い集会所を輪番で使用、年間5回を開催します。



協働による地域見守り

野庭住宅地区

野庭住宅地区民児協では、地区内の6つの自治会からの推薦を受けた16名の委員（内、主任児童委員2名）欠員1名で活動しています。委員の大半は仕事をもっていて、活動時間も制約される中ではありますが、それぞれの自治会やボランティア団体などとも協力しあいながら活動を進めています。高齢化が進み、見守りの対象者が多いですが、元気な高齢者の方々による日常的な相互の見守りなどに助けられています。地区内では近年、多くの老人ホームなどが建設され増えてきています。その中から今年の6月に、平成28年に開所された養護老人ホーム「野庭風の丘」の見学に行ってきました。閉校になった小学校跡地に建てられ120名の方々が入所されていました。

地区内では委員の訪問見守り活動に加えて、通学時間の見守り活動協力や各自治会やボランティア団体主催で開催されるサロンやお食事会などのお手伝いなどもしています。





こどもの育ちによりそって!! ～児童委員、主任児童委員の役割～

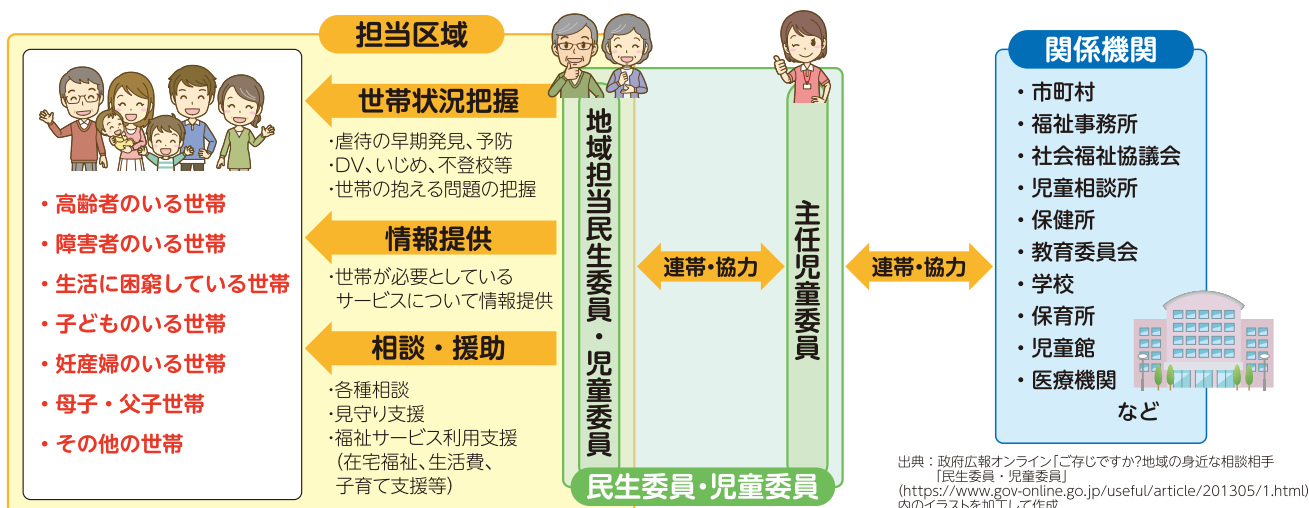


こどもの育ちや子育てを取り巻く状況は、複雑化・多様化しています。令和5年には、こども家庭庁が創設されました。解決に向けて専門機関は対応しますが、様々な課題に向けて、地域住民の理解と関心が不可欠です。

児童委員・主任児童委員は、活動をととして、人と人、人と機関、人と制度やサービス、人と地域を「つなぐ」ことができ、子どもや子育て家庭の「身近な大人」「応援団」として成長を支援し、サポートができます。こどもや子育て家庭の声に耳を傾けるために、私たち民生委員・児童委員、主任児童委員の役割は重要です。

※民生委員は児童委員を兼ねています。

民生委員・児童委員、主任児童委員の活動について



相談窓口を紹介したり、子どもや子育ての相談・支援等を行っています。民生委員・児童委員は守秘義務があり、個人の秘密やプライバシーは固く守られますので安心してご相談ください。

例えば、こんな相談も...



Q.子育ての悩みを相談したいけど、気軽に話せる人がいたらいいのにな。



A.はっち(子育て支援拠点)、子育てサロンがおすすめです。その他に区役所の「こども家庭支援課」でもご相談になれますよ。

主任児童委員が関係するイベント

(おやこの居場所づくり、啓発活動)

おやこコンサート
(8月22日)



ゆめワールド
(11月2日)



港南区を管轄する南部児童相談所が 7月に上永谷駅前に移転しました!



児童相談所とは・・・

こどもたちの安心と安全を守り、心身ともに健やかに成長できるよう支援する専門の相談機関です。児童福祉法に基づいて、18歳未満の児童や家庭に関する相談に応じるとともに、専門的な調査・判定・支援を行います。

編集 後記

3年任期の真ん中の年の広報をお届けします。より私たちの活動を知ってほしいと企画しました。また、上永谷にできた南部児童相談所もご紹介しました。

広報紙編集部会

笠原 博明(部会長)
片伯部 富
吉澤 久子

中村 照美
福田 八千代